

えほんのおへや通信



2018年5月1日(火)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

絵本の読み聞かせは子どもの興味、情緒的発達、想像力、言語能力を育てます。最も大事なものは言語能力で、子どもは言葉を主に耳から聞いた通りに話すからです。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」5月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「ちゅうちゅう ちゅちゅちゅ」 村田 エミコ 文・絵</p> <p>「ちゅうちゅう」と走るお母さんねずみのあとを「ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ ちゅ」とまねして走る子ねずみたち。子ぶたは「ぶ ぶ ぶ ぶ ぶ」、魚は「ぷ ぷ ぷ ぷ」と・・・</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「なんの くるまに のるのかな？」 小輪瀬 護安 作</p> <p>宅配屋さん、お巡りさん、消防士さん、清掃作業員さん、バスの運転士さん、工事の作業員さんたちが次々に登場し、働く人たちがどんな車に乗ってお仕事するかを紹介します。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「リュック しょって ピクニック」 こさか まさみ 作 こやま ともし 絵</p> <p>クマとキツネとウサギとネズミが、リュックをしょって山にピクニックに行きました。途中、お弁当を食べると、クマは昼寝を始めてしまいました。</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「たんぼぼのまほう」 河本 祥子 作</p> <p>野ウサギのくうは、おばあちゃんにクッキーを届けることになりました。たんぼぼの綿毛を吹きながらやってきたくうを見て、おばあちゃんはたんぼぼの魔法を教えてくださいます。魔法で空を飛んだくうは・・・</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「たんぼに あおぞら みつけた！」 澤口 たまみ 文 山口 哲司 絵</p> <p>春、田んぼに水が入りました。夜になり、カエルのにぎやかな声に誘われて足を運ぶと、あれ？ 田んぼの中におつきさま！</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「ともだちごっこ」 著者 内田 麟太郎 (作), 降矢 なな (絵) 3歳から</p>  <p>偕成社</p> <p>キツネのすむ森にやってきた女の子、テン。笛が上手でかわいくて、でも、ちょっぴり、いえ、ものすごくワガママみたい。テンはキツネに自信満々いいはなちます。笛がききたいなら、「明日から3日間、キツネくんはあたしだけのともだち！」でもそれって何だかへん！ キツネ、本当のともだち、オオカミさんはほっといいのかな？</p> <p>※年齢は目安です。</p>

